

令和6年4月1日
(2024年)

各局等の長様

市長

財政構造改善基本方針に基づく取組の着実な推進について

1 本市の財政状況について

本市の財政状況は、歳入については市税が堅調に推移している一方、歳出においては、人件費の占める割合が中核市平均に比べ大きくなっていることや、社会保障関係経費が年々増加していることなどにより、平成30年度以降、赤字基調に陥っている。

このような中、令和4年度決算においては、実質単年度収支が42億円を超える赤字となり、財政基金を21億円取り崩すなどで、収支不足を補填した。

また、令和6年度予算では、収支均衡を図るために約78億円もの財政・減債基金を取り崩していることに併せて、令和5年度決算においても、収支不足を補填するため、令和4年度より多額の財政基金取崩が必要になると見込んでおり、極めて厳しい状況にある。

令和6年度より第5次西宮市総合計画後期基本計画期間が始まるが、ここに掲げた西宮市の将来像実現のためには、財政構造改善に向けた取組を着実に推進していく必要がある。

2 財政構造改善に係る取組について

上述の財政状況の中、昨年10月に財政構造改善基本方針を策定し、令和6年度から5か年において、全庁を挙げて財政構造改善に取り組んでいくこととした。

本年2月には取組の概要や目標額を記した「財政構造改善基本方針に基づく取組の大枠(以下、「大枠」)」を公表したところである。

今後、この「大枠」を更に具体化した「実施計画(素案)」を策定し、本年11月には議会へ報告する予定である。

また、職員の定員についても、「実施計画(素案)」を踏まえ、令和10年度までの職員数を定める定員管理計画(vol.2)の策定を予定している。

今年度に取り組む事業見直しについては、6月頃までに各事業の実績や効果等を検証する「事業レビュー」を実施し、その結果を、例年の「実施計画査定」、「令和7年度予算査定」及び「令和7年度職員採用」に連動させることで、経常的な歳出削減を図っていくこととしている。また、新規・拡充施策の予算化にあたっては、サンセット予算の導入も検討している。

局横断的な事業見直しについては、「事業レビュー」とは別に、各部会等を設置のうえ議論し、方向性を決定していくこととするが、部会等の中心となる部署やスケジュールを明確にし、定期的に部会を開催するなどにより、計画的で実行性のある取組とされたい。

最後に、「大枠」の策定にあたっては、限られた時間の中、各局長を中心に全庁の職員に協力いただいたことにより、取りまとめと公表に運ぶことができた。

令和6年度においても、非常に厳しい財政状況であるが、各局長のリーダーシップの下、財政構造改善に資する新たな取組についても積極的に提案・検討するなど、更なる財源捻出のために引き続き協力をお願いします。

以 上